

# 2024年2月期 第2四半期決算説明会



1. 決算ハイライト

2. 2023年度 上半期取組み

3. 2023年度 下半期重点取組み方針

4. 2024年2月期 連結業績予想

1. 決算ハイライト

2. 2023年度 上半期取組み

3. 2023年度 下半期重点取組み方針

4. 2024年2月期 連結業績予想

## ● 上半期決算総括

- ✓ 連結営業収益は前年同期比4.6%増で過去最高を記録
- ✓ 連結営業利益は前年同期比26.5%増と増益を達成
- ✓ 全店売上高は前年同期比104.8%と伸長
- ✓ 愛知県に1店舗、静岡県に3店舗の合計4店舗を新規開設
- ✓ 競争力を高めるため4店舗で大型の改装を実施
- ✓ 移動スーパーは3台を新規稼働
- ✓ Maxマート（無人店舗）は11店舗を新規開設
- ✓ 「Uber Eats」は22拠点を開設
- ✓ iAEONを活用したデジタル販促を推進
- ✓ 冷凍ケースの入替を32店舗で実施
- ✓ キャッシュレスセルフレジを50店舗で導入
- ✓ おもいやりレジの設置や見守り協定を締結

営業収益は1,815億円（前年同期比104.6%）で過去最高  
 営業利益は57億円（前年同期比126.5%）と増益を達成

（単位：百万円、%）

	2023年2月期 第2四半期	2024年2月期 第2四半期	前年同期比
営業収益	173,590	<b>181,537</b>	104.6
売上高	169,828	<b>177,682</b>	104.6
営業利益	4,572	<b>5,782</b>	126.5
経常利益	4,582	<b>5,777</b>	126.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,940	<b>3,641</b>	123.8

総資産は91億円増加し1,301億円、負債合計は38億円増加し544億円、純資産は52億円増加し756億円

(単位：百万円、%)

	2023年2月期 第2四半期末		2024年2月期 第2四半期末		前年同期差
	実績	構成比	実績	構成比	
流動資産	50,742	41.9	<b>59,295</b>	45.6	8,552
固定資産	70,260	58.1	<b>70,831</b>	54.4	570
総資産	121,003	100.0	<b>130,126</b>	100.0	9,122
流動負債	41,011	33.9	<b>45,241</b>	34.7	4,230
固定負債	9,537	7.9	<b>9,202</b>	7.1	△ 334
負債合計	50,548	41.8	<b>54,444</b>	41.8	3,895
純資産	70,455	58.2	<b>75,682</b>	58.2	5,227
負債純資産合計	121,003	100.0	<b>130,126</b>	100.0	9,122

客数は前年同期比102.7%、客単価は前年同期比102.1%となり、売上高は前年同期比104.8%と伸長

(単位：%)

	2023年2月期	2023年 3月	2023年 4月	2023年 5月	2023年 6月	2023年 7月	2023年 8月	2024年2月期 第2四半期
売上高	100.8	101.8	105.5	105.1	105.5	106.0	105.0	<b>104.8</b>
客数	100.5	101.8	103.8	102.3	101.9	103.8	102.7	<b>102.7</b>
客単価	100.3	100.0	101.7	102.8	103.6	102.0	102.2	<b>102.1</b>
1品単価	102.2	105.0	105.5	105.2	106.0	106.7	107.3	<b>106.0</b>
買上点数	98.2	95.2	96.4	97.7	97.8	95.6	95.3	<b>96.3</b>

働き方改革により人時売上高は向上、最新の冷凍ケース、LED照明の入替で電気使用量を抑制

【個別】

(単位：円、千Kwh、%)

	2023年2月期 第2四半期	2024年2月期 第2四半期	前年同期比
人時売上	15,147	16,039	<b>105.9</b>
電気使用量	155,141	139,218	<b>89.7</b>

【連結】

(単位：百万円、%)

	2024年2月期 第2四半期	前年同期比
人件費	23,893	105.9
販売費	4,707	105.3
設備費	14,925	99.2
一般費	3,067	111.8
販売費及び一般管理費合計	46,593	103.9



## イオンマックスバリュ(広州)商業有限公司

- ・火曜日、水曜日の「生鮮大市」、週末の「超級週末」の展開を強化
- ・新カテゴリーを加えての「10元均一」の実施
- ・買上点数向上施策を基軸とした売上と客数の向上に継続して取り組む



## デリカ食品株式会社

- ・新規商品の開発による商品力の強化
- ・地産地消の拡大に向けて「じもの」食材を使用した商品の販売促進

1. 決算ハイライト

2. 2023年度 上半期取組み

3. 2023年度 下半期重点取組み方針

4. 2024年2月期 連結業績予想

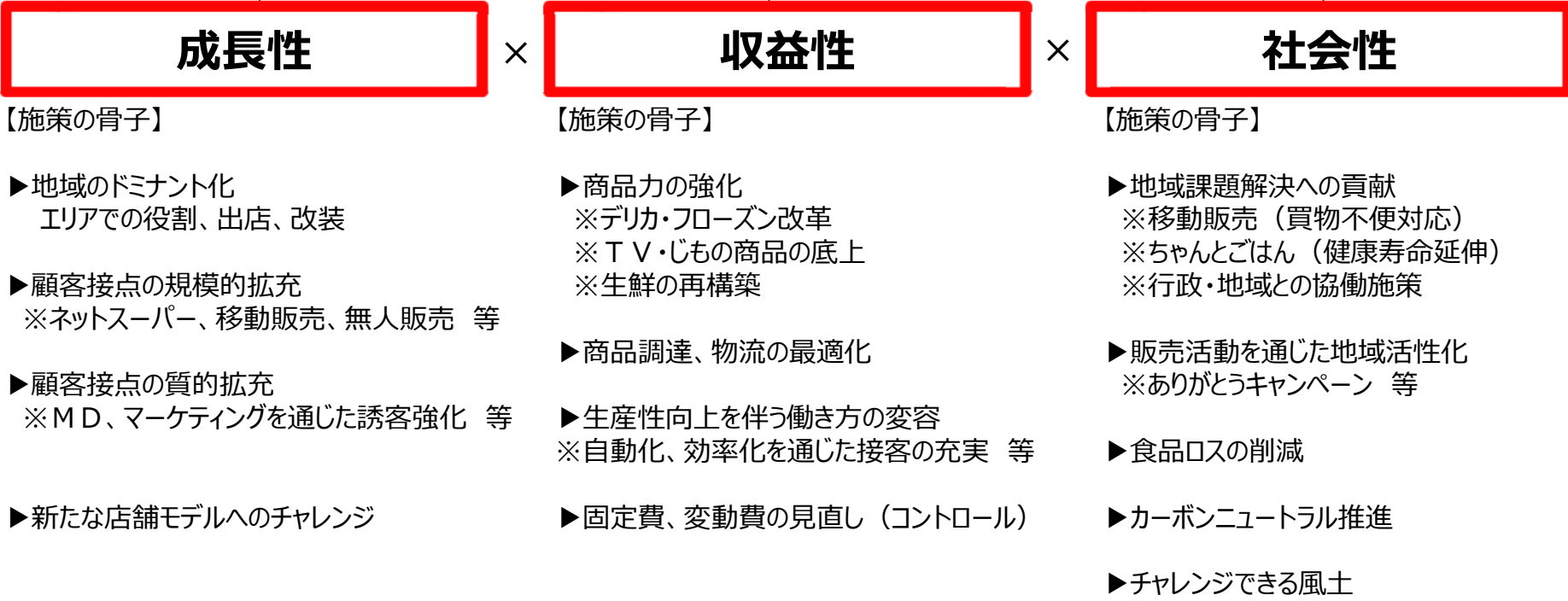
新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う経済活動の活発化が見られる一方で、依然として先行きの不透明な状況が継続

- 原材料価格の高騰や円安の進行
- 食品価格の上昇による消費マインドの低迷
- エネルギー価格の上昇に伴う水道光熱費等のコスト負担
- 業種、業態を超えた競争環境の激化

**“想いを形に、「おいしい」でつながる。”を具現化  
地域に根差した店舗づくりや商品・サービスの提供**

サステナビリティは、事業そのものと社会的な貢献を融合し続ける道なり。  
成長性・収益性・社会性を並行的に追求し、力強い成長軌道を描き、実行する。

## サステナブル（持続的な成長）な地域と事業づくりへの挑戦



**原点認識に基づく「基本の徹底」= 土台**

# 成長性

エリアシェアを高めるため、愛知県に1店舗、静岡県に3店舗の  
合計4店舗を新規開設



愛知県江南市

マックスバリュ江南布袋店



浜松市中区

マックスバリュ浜松助信店



静岡県駿東郡小山町

マックスバリュ  
エクスプレス 小山須走店



静岡県湖西市

マックスバリュ湖西新居店



ちやんとごはんSTUDIOを併設



当社初となる木造建設

競争力を高めるため4店舗で大型の改装を実施し、商品力の強化と生産性を向上



**マックスバリュ北勢店**

イオン三重いなべ農場の野菜果物の取り扱い



**マックスバリュ富士宮朝日町店**

キャッシュレスセルフレジを設置し、生産性を向上



**マックスバリュ富士河口湖店**

地域性に合わせBBQ商材を拡充するなど生鮮を強化



**マックスバリュ徳川明倫店**

冷凍食品「Picard（ピカール）」の商品を導入

移動スーパーは3台を新規稼働し、Maxマートは11店舗を新規開設、「Uber Eats」は22拠点を新規開設



## 移動スーパー

三重県での新規運行を含む3台を稼働し、9台47コースで運行中



## Maxマート(無人店舗)

新規に11店舗を開設し、20店舗を展開



## Uber Eats

岐阜県、神奈川県での新規展開を含む22拠点を開設し、合計43拠点へ拡大



iAEONを活用したデジタル販促を推進するとともに、火水曜市や感謝デー等の得意日のプロモーションを強化



# 収益性

デリカ、冷凍食品の品揃えを拡充し、成長カテゴリーの商品の販売を強化



## デリカの強化

- ・地域に伝わる郷土料理や専門店の味を再現した商品の開発
- ・ご家庭で作る機会の減った料理の品揃えを充実
- ・小容量サイズや食べきりサイズの品揃えを強化



## 冷凍食品の強化

- ・冷凍ケースの入替を32店舗で実施し、商品の品揃えを拡充
- ・中華、ピザなど専門店の本格的な味が楽しめる商品を展開
- ・簡便ニーズに対応するため、カット済みの冷凍野菜を強化

低価格・高品質な商品の提供に努めるトップバリュの展開を強化、  
じもの商品の品揃えを拡充するなど商品力を強化



## トップバリュの展開を強化

- ・トップバリュベストプライスの展開を強化し節約志向に対応
- ・新商品、リニューアル商品の拡販
- 健康志向の高まりに対応するためグリーンアイの品揃えを拡充



## じもの商品の品揃えを拡充

- ・じものスター誕生企画を通じ、お客さまとともにじもの商品を発掘、育成
- ・「じもの応援セール」や「各県フェア」を開催し、当社の『じもの』をブランド化

生産性を高めるため、キャッシュレスセルフレジを50店舗で導入、  
スライド棚の導入を拡大



## キャッシュレスセルフレジの導入

- ・キャッシュレスセルフレジを50店舗で導入し生産性を向上
- ・セルフスキャンアテンダントマスター資格制度を導入



## スライド棚の導入拡大

- ・商品の陳列作業を効率化するため、スライド式のパネルの導入を拡大

# 社会性

## おもいやりレジの設置や移動スーパーの新規稼働に合わせ 自治体と「見守り協定」を締結

おもいやりレジの設置に合わせ  
「四日市市見守り等活動に関する協定」を締結



三重県四日市市

移動スーパーの新規稼働に合わせ  
「高齢者にやさしいまちづくりに関する協定」を締結



三重県松阪市

浜松助信店の開店にあわせ森の循環を体験する企画や  
生産者さまの獲れたて農産朝市など地域に密着したイベントを開催



天竜材を活用した作品展



きこりのトークショー



天竜材お箸づくり



生産者さまの農産朝市



キッチンカーマルシェ



浜松市と防災協定締結



女性活躍推進に向けた社内研修の受講生が商品開発したほか、東海市、東海市健康づくり食生活改善協議会と共同で商品開発

## カラダよろこぶ 1 2 品目よくばりサラダ



## 5種の味わいトマト御膳



## マックスバリュ浜松助信店 ちゃんごはんSTUDIO

浜松市と協同で料理教室と健康講座を開催



## 富士山世界文化遺産登録10周年を記念し、「富士山ありがとう」キャンペーン対象商品を中心とした静岡県フェアを開催



知事に寄付金を贈呈



特設コーナーを設置



副知事が売場視察

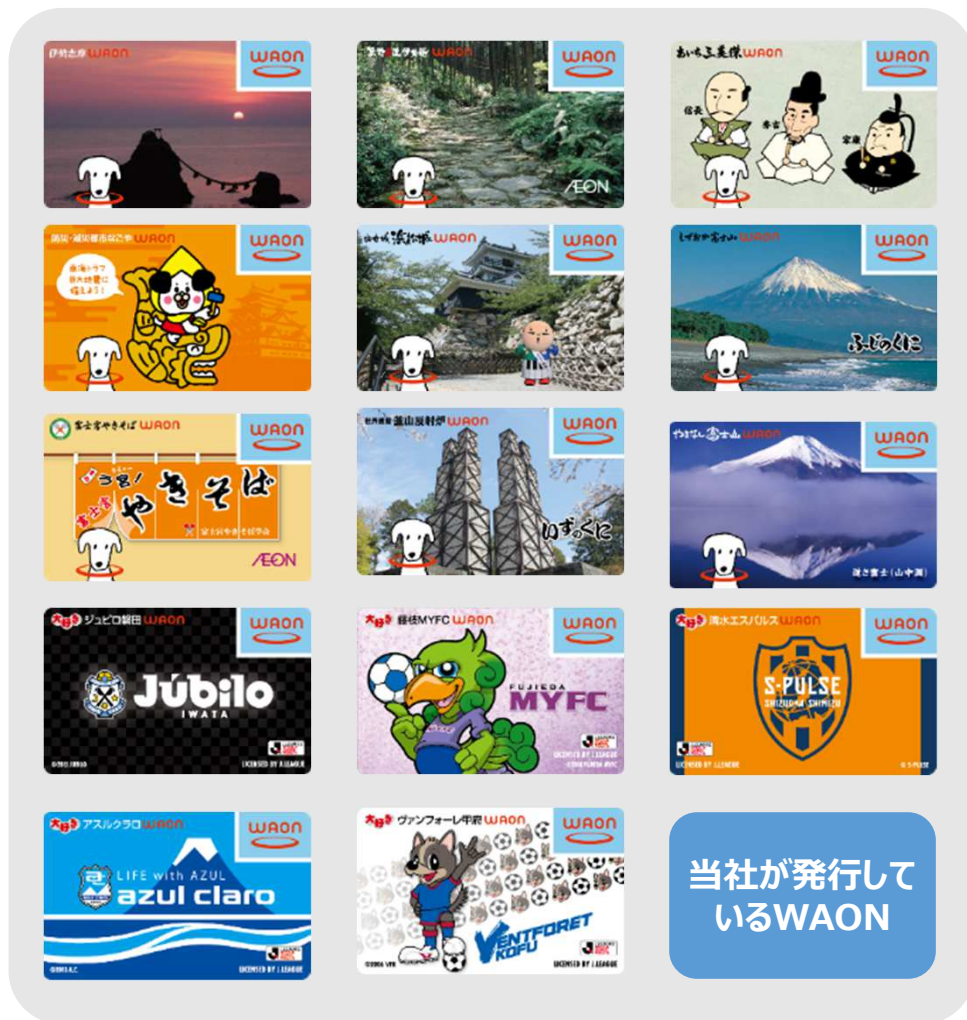


富士山にゆかりのある商品を使ったレシピを作成



富士山環境保全啓発ブースを設置

ご当地WAON・大好きサッカーWAONの2022年度ご利用金額の一部として総額1,866万円を自治体等に寄付



熊野古道伊勢路WAON



あいち三英傑WAON

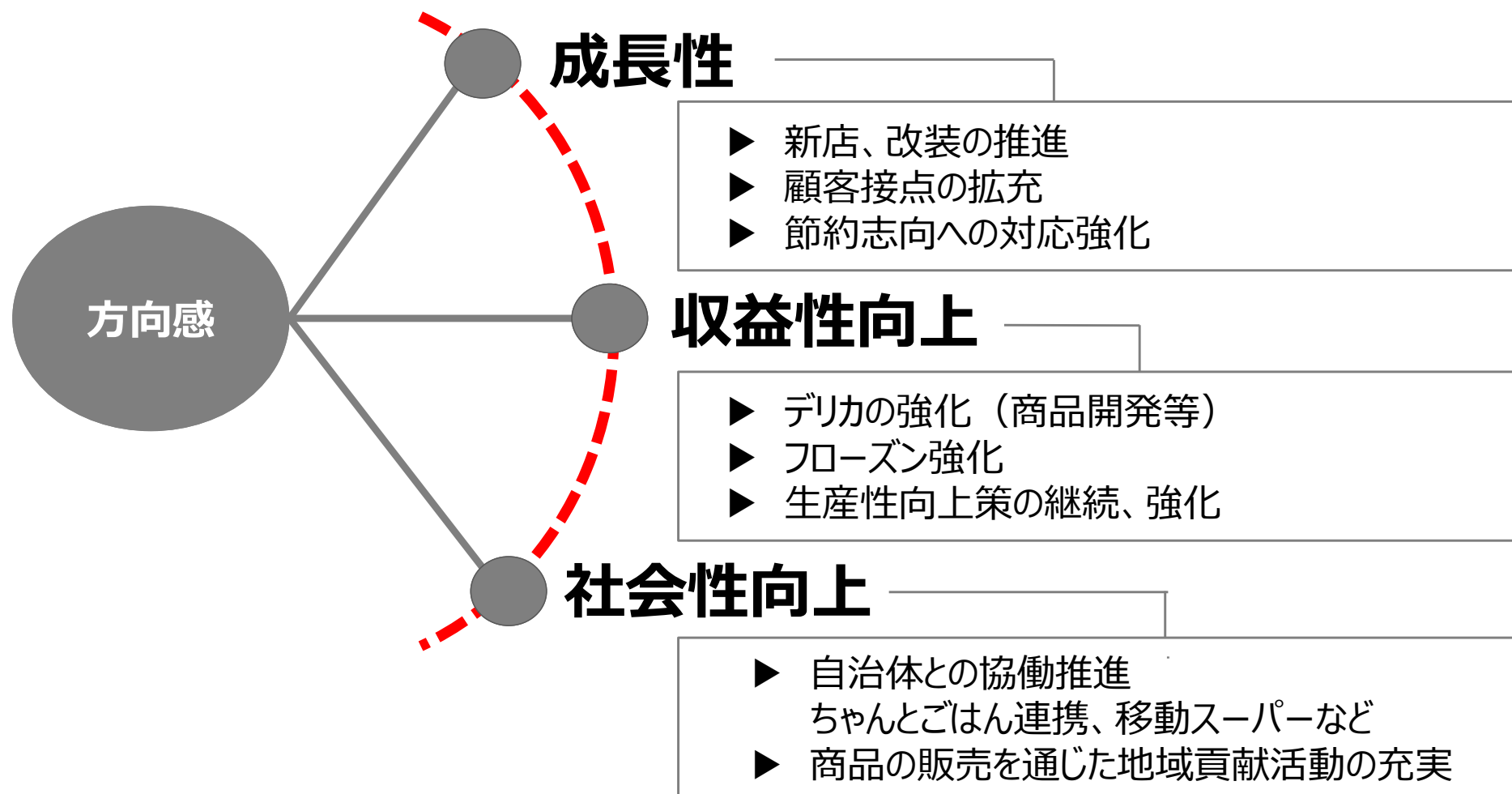
1. 決算ハイライト

2. 2023年度 上半期取組み

3. 2023年度 下半期重点取組み方針

4. 2024年2月期 連結業績予想

■ 全体の方向感は2023年度基本方針に沿いつつも、お客さまの変化、上半期に認識した課題には確実に対応する



■ 新店、改装を推進するとともに、顧客接点の拡充、節約志向への対応を強化

- 新店、改装の推進
- 移動スーパーの新規稼働
- Maxマート（無人店舗）の新規開設
- iAEON 会員の獲得
- トップバリュ商品の拡販



「成長性」

■ 伸長カテゴリーであるデリカ、冷凍食品の商品力を引き続き強化するとともに、生産性向上策の継続、強化

- ・デリカ・冷凍食品の強化
- ・じもの商品の品揃えを拡充
- ・トップバリュ商品の拡販
- ・キャッシュレスセルフレジの導入
- ・自動発注システムの導入拡大



**「収益性」  
の向上**

地域との共生を最も真剣に考える企業を目指し、地域の発展とサステナブルな地域社会の構築に貢献

- 自治体との協働を推進  
(ちゃんごはん連携、移動スーパーなど)
- 商品の販売を通じた地域貢献活動の充実

「社会性」  
の向上



# 店舗従業員が自店で扱う商品を選定 第10回「じもの商品大商談会」開催



出展企業： 約350社  
出展商品： 約2,400アイテム  
参加人数： 約1,200名

2023年10月4日開催

1. 決算ハイライト

2. 2023年度 上半期取組み

3. 2023年度 下半期重点取組み方針

4. 2024年2月期 連結業績予想

(単位：百万円、%)

	2023年2月期	2024年2月期	前期比
営業収益	351,107	<b>360,000</b>	102.5
営業利益	10,302	<b>10,600</b>	102.9
経常利益	10,285	<b>10,500</b>	102.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,169	<b>5,700</b>	92.4

(単位：円)

	2023年2月期	2024年2月期	前期差
1株当たり当期純利益	193.82	<b>179.02</b>	△ 14.8
1株当たり年間配当	57	<b>60</b>	3

想いを形に、「おいしい」でつながる。



マックスバリュ東海株式会社